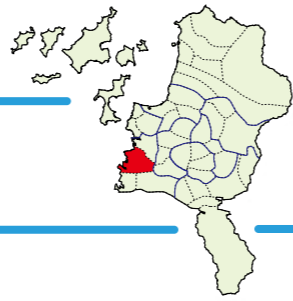


しょう せき  
**生石地区**

人口: 18,899人(高齢化率26.7%)  
世帯数: 8,788世帯

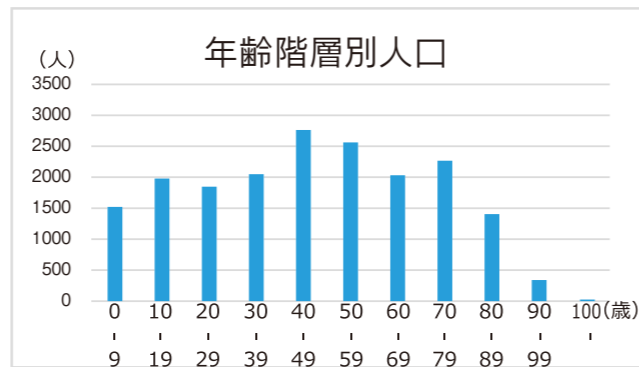


**【地区の特色】**

生石地区は、松山市の西部、瀬戸内海に面した位置にあり、自然と緑豊かな垣生山を中心に、伊予節で有名な吉田挿桃(さしも)を初め、生石八幡神社・金刀比羅神社等、数多くの史跡が残っている。かつては、大根・ラッキョウ・さつまいも等の野菜栽培が主な産業の田舎であった。戦後は、(株)帝人を始め次々と企業が進出し、旧軍滑走路は松山空港となり、周辺の整備事業も進み、国際化へ向って愛媛の空の玄関として大きく変わってきている。



愛媛の空の玄関、松山空港



**【地域住民からみた地域の状況】**

<b>地区の強み</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会と連携した活動 ・防災訓練に熱心</li> <li>・陸海空の交通が至便。空港があり県外へのアクセスが良好</li> <li>・買い物などスーパーが多く便利 ・避難所が多い ・企業OBが協力的</li> <li>・公園で子どもたちがよく遊んでいる ・住民によって垣生山の整備活動が行われている</li> <li>・公民館活動が盛んでコミュニケーションが取れている ・保育園と地域住民の交流がある</li> <li>・子どもたちがよく挨拶する児童数市内No.1 ・子ども見守り隊の見守り員が多い</li> <li>・自然に恵まれている ・山側を歩くと空気がキレイ ・健康意識が高い</li> </ul>
<b>地区の弱み</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーポなど自治会にも入らない人達とのコミュニケーションが取りにくい</li> <li>・若い人の地域行事参加が少ない ・土石流の心配がある</li> <li>・信号の時間が短いところがある ・脇道が狭く車の量が多い</li> <li>・交通量が多い ・バスの遅延(朝・夕) ・時間によって交通混雑、渋滞がある</li> <li>・地域によるゴミ出しの分別が守られていない</li> <li>・公園の利用マナーが悪いところもある</li> </ul>
<b>福祉課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報保護法により、個人情報が出ないので把握できない事が多い</li> <li>・独居世帯が増加(日常生活への支援が必要)</li> <li>・高齢者が話し相手をほしがっている</li> <li>・賃貸マンションの住民との交流</li> <li>・スーパーが多くなり、小売店が少なくなる(高齢者の買い物不便)</li> <li>・役員の担い手不足・行事を行うにも他人事</li> <li>・住民同士の関わりが希薄になる</li> </ul>

**生石地区社会福祉協議会**

つないだ手 温もり伝わる 生石の輪

<b>構成団体</b>	地区民協・町内会長・区長・自治会長
<b>主な取り組み</b>	<b>活動内容</b>
地域住民の生活支援(地域福祉サービス事業)	ゴミ出しや買い物支援等、高齢者の生活を地域住民の手で支えようと、協力会員、民生委員・児童委員、みまもり員が簡易な生活援助を行っています。
生石小学校における福祉学習	福祉学習の一環として、障がいのある人や高齢者の生活への理解促進を目的に車いすや点字、高齢者擬似体験の活動を支援しています。
高齢者福祉講座	まちづくり協議会と連携し、主に高齢者を対象とした福祉講座を開催しています。高齢者が身近に感じる事をテーマに取り上げています。

**お一人住いの皆様と共に**

独居高齢者を対象に、交流と慰労を目的とした催しを行っています。保育園児による劇や中学生によるコーラスなど、様々な関係機関と連携して絆と思いやりの種まきを行っています。平成元年から続く活動で現在までに30回開催しております。



**<地区社協が目指すもの>**

地域社会の変化と多様化、例えば新旧住民の関係、地域への愛着度、少子高齢化、防災など課題山積のなか、これまでの行事・活動を漫然と続けていけば活性化は望めません。まずは地区まちづくり協議会、その構成組織・団体との連携強化と交流に努めます。すでに高齢者健康福祉講座、認知症サポーター養成講座、防災訓練、災害時要援護者対策で実績を積み、意見交換を始めている分野もあるため、この流れを地道に継続し、拡大・普遍化する先に「助け合う社会」「安全安心の暮らし」「地域文化の継承」などの展望が開けてくると考えています。

<b>地区の状況</b>	■地区民協	25名	■町内会・自治会・区長会等	9団体
	民生委員		■高齢クラブ	7クラブ
	主任児童委員		2名	■子ども会
	■まち協の設立	平成26年度	■自主防災組織	16組織

児童が市内でも多く在住し、交通や生活の利便性が高い地区です。そのため、子どもに対する活動が中心となっています。地区社協が目指す「絆と思いやりの種まき」を具現化する試みとして独居高齢者を対象に子どもを含めた交流会、地域住民による地域福祉サービス事業の展開、子ども向け福祉学習や福祉講座を開催しています。これらの活動は、子どもの地域愛着形成につながり福祉教育の充実に向けた実践といえるでしょう。



